

【施策評価調査】

施策名	3-4-1	防犯灯の整備		102	施策目的 安心して暮らせる地域社会を創るために、危険箇所への防犯施設(防犯灯、防犯カメラ)の設置をに努め、犯罪の起こりにくいまちづくりを推進します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	総務企画部地域安全課	担当	危機管理		
		リーダー	岡本英男		
環境変化	町直轄管理になった。				施策内容 平成16年度現在約1,400基設置している防犯灯を平成18年度・19年度に集中的に増設し、児童・生徒の通学路や地域の主要幹線道路、防犯対策上重要な場所に事件・事故等の発生しにくい環境を作ります。また、宝積寺駅東口の整備に伴い、犯罪等の未然防止や周辺環境整備の観点から、防犯カメラの整備を検討します。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標 : 防犯灯設置総数(基)	平成16年度 1,405基	計画	1645基	1695基	1695基	1695基	1,695基
		実績	1785基	1885基	1999基		
指標 :		計画					
		実績					
指標 :		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,000,000	4,560,000	3,187,000		
	決算	2,115,120	4,552,160	3,023,148		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
防犯灯整備事業費	当初 2,394,000	新規防犯灯設置数	A	児童、生徒の通学路や地域の主要な道路及び防犯対策上重要な場所114カ所に防犯灯を設置しました。防犯灯を設置することにより、防犯や交通安全の向上など地域住民の安心、安全に寄与しています。			
	決算 2,393,148	114基 / 100基		継続	今後の方向性(総合評価)	継続	
防犯カメラ整備事業費	当初 793,000	防犯カメラ設置数	A	平成20年8月25日に宝積寺駅東口防犯カメラ設置工事が完了したことにより、犯罪の未然防止につながることや映像を240時間記録できるため、万一事件等が発生した場合でも早期解決につながるため、地域の防犯に寄与しています。			
	決算 630,000	4基 / 1基		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	終了
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

施策事後評価 20年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	防犯灯の設置に関しては、平成18年度から3ヶ年計画により、中学校区分での通学路を整備する計画を立て、年次ごとに整備をしました。また、地域や学校からの要望に対応して整備をしています。この結果、地域の防犯と交通安全に効果が出ている。防犯カメラ整備事業に関しては、宝積寺駅東口の犯罪を未然に防ぐために効果的な手段となっています。遠隔操作により、高根沢交番にて映像の記録ができるため、万一事件等発生の場合でも早期解決の重要な資料となります。	防犯灯は、平成18年度から3ヶ年で310基を設置したことにより合計で1999基となり、目標の1900灯の整備計画は達成されました。今後は犯罪や事故等が発生する前に、地域と協働して危険箇所の事前点検や必要性などを調査し、的確な時期に設置できるよう計画的に進めていきます。
総合評価	<p>■ 総合評価 ■</p> 安心安全のまちづくりの推進のため、計画的に整備されていると評価する。後期計画策定に向けて、これまで設置した箇所の効果の検証や事件・事故が発生した箇所のデータを分析した上で、町が行うことと地域が行うこと役割分担をし、地域の連帯感が生まれるような施策展開を検討すること。また、併せて施策指標も見直すこと。	